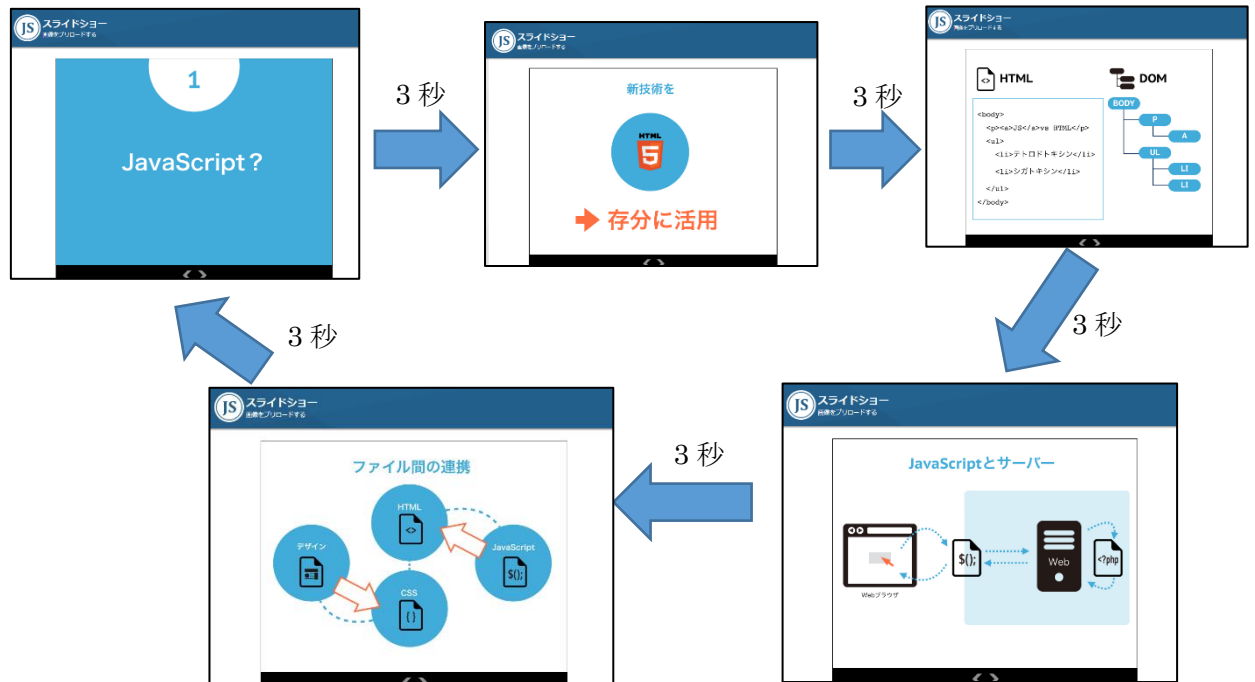


問題 自動スライドショー！

前回のスライドショーを3秒ずつ自動で表示するように変えてみよう！



5-05_slide フォルダの中身をコピーして改造しよう！

タイマーの部分は前回やった 5-01_countdown を活用しよう！

3秒は3000ミリ秒なので、`setTimeout` の第2引数は3000になります！

例によって、次ページよりヒントを書いていきます。

見たくない人はノースクロールで！

完成して時間が余ったら、好きな画像に変えたり表示する画像の数を増やそう！



ヒントその1

3秒ごとにタイマーを動かすのは以下のようにすれば OK !

```
var recalc = function() {  
    //ここに3秒ごとに行いたい処理を書く ↓  
    //ここに3秒ごとに行いたい処理を書く ↑  
    refresh();  
}  
  
var refresh = function() {  
    setTimeout(recalc, 3000);  
}  
recalc();
```

上記のプログラムは

```
recalc が呼ばれる  
↓  
refresh が呼ばれ、3秒後に recalc が実行されるタイマーがセットされる  
↓  
3秒後に recalc が呼ばれる
```

が繰り返されます。

やりたいことは、順番に画像を表示することです。

表示したい画像のファイル名は **images** 配列にあるので、この配列の中身を3秒ごとに0番目から順に取り出して、**img** タグの **src** 属性にセットすれば OK !

何番目を取り出すかは **current** を使うと良い。3秒ごとに **current** のなかが

0 → 1 → 2 → 3 → 4 → 0 → 1 → 2 → 3 → 4 → 0 → . . .

と変化するようにする為にはどうしたらいいかな? → ヒント: 商の余り

配列から取り出したデータをセットするのは、教科書 P.230 辺りを見てみよう



ヒントその2

`current` の変数を

$0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 0 \rightarrow \dots$

と変化するようにする為には、「商の余り」を使います。これは常套手段なので覚えておきましょう！

0～4を繰り返したいのであれば5で割った商のあまりを出せばOKです！

current	5で割った商のあまり
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	0
6	1
7	2
8	3
9	4
10	0

5で割った商のあまりで、画像のファイル名が入った `images` 配列を参照すればOK！

current	5で割った商のあまり	images 参照	images 参照結果
0	0	<code>images[0]</code>	<code>images/image1.jpg</code>
1	1	<code>images[1]</code>	<code>images/image2.jpg</code>
2	2	<code>images[2]</code>	<code>images/image3.jpg</code>
3	3	<code>images[3]</code>	<code>images/image4.jpg</code>
4	4	<code>images[4]</code>	<code>images/image5.jpg</code>
5	0	<code>images[0]</code>	<code>images/image1.jpg</code>
6	1	<code>images[1]</code>	<code>images/image2.jpg</code>
7	2	<code>images[2]</code>	<code>images/image3.jpg</code>
8	3	<code>images[3]</code>	<code>images/image4.jpg</code>
9	4	<code>images[4]</code>	<code>images/image5.jpg</code>
10	0	<code>images[0]</code>	<code>images/image1.jpg</code>

あとは、`images` 参照結果で取得した結果を `img` タグの `src` 属性にセットすればOK！



ヒントその3 穴抜きのところを考えてみよう！

```
var images =  
['images/image1.jpg', 'images/image2.jpg', 'images/image3.jpg', 'images/image4.jpg',  
'images/image5.jpg'];  
var current = 0;  
  
var recalc = function() {  
    current =   
    document.  
    current++;  
    refresh();  
}  
  
var refresh = function() {  
    setTimeout(recalc, 3000);  
}  
recalc();
```

current を 5 で割った余りを求める

教科書 P.230

表示する画像を `images` を参照して決めて
`img` タグの `src` 属性にセットする